2025年4月入学生用 教職課程説明資料

(工学部)

1. 免許状の種類及び教科

学科	免許状の種類及び教科
機 械 工 学 科 建 築 学 科 宇宙航空システム工学科	高等学校教諭一種免許状(工業)
ナノサイエンス学科	高等学校教諭一種免許状(理科) 中学校教諭一種免許状 (理科)

2. 免許状取得資格

(1) 基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許状を取得するための基礎資格は学士の学位を有すること。

その他に、教育職員免許法に定められた「大学における最低修得単位数」の科目として「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「文部科学省令で定める科目」の単位を修得が必要。単位数は次の通り。

		本学には	本学における最低修得単位数						
免許状の種類	基礎資格	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科及び教科の指 導法に関する科目	文部科学省令で定 める科目					
高等学校教諭一種免許状 (工業・理科)	学士の学 位を有す	2 4	3 5	1 2					
中学校教諭一種免許状 (理科)	ること	2 8	3 1	1 2					

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

★工業(高校) 認定学科 : 機械・建築・宇宙

	施行規則に定める科目区分等		授業科目		単位	1年	次	2年次		3年	次	4年	三次
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	汉未行口			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思 想		0	教育原論	2		0						
この基礎的理解	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		0	教職概論	2	0							
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	0	教育制度論	2		0						
に関	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程		0	教育心理学	2					0			
する	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解		0	特別支援教育論	1			0					
科目	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュ ラム・マネジメントを含む。)		0	教育課程論	1					0			
指道	道徳の理論及び指導法			道徳教育指導論	2								
導徳法、	総合的な探究の時間の指導法)	総合的な学習の時間の指導法	2			0					
並及総	特別活動の指導法		0	特別活動論	1					0			
りに関する? び生徒指導合的な学習	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方 法	8	0	教育方法論 (ICT活用含む)	2						0		
科目教育	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		0	進路指導・生徒指導論	2			0					
相等談の	教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法		0	教育相談の理論と方法	2				0				
関教			0	事前・事後指導	1						0		0
す育る実	教育実習	3	0	教育実習 I (中・高)	2							0	
科践		2		教育実習Ⅱ(中)	2								
目に	2100 textor ii		0	教職実践演習(中・高)	2								0
	計	23			24								

※◎○は必修科目

- ☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること
- ☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

☆「工業」免許状の取得方法について(特例)

高等学校教諭の工業の普通免許状の授与を受ける場合は、同表に掲げる科目についての単位数の全部又は一部の単位の修得は、当分の間、当該免許状に係る「教科に関する専門的事項」についての同数の単位の修得をもって、これに替えることができる。 (改正免許法施行規則第5条第1項表備考第6号)

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

★理科(高校) 認定学科 : ナノ

	施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位	1年	次	2年	次	3年	次	4年	次
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数		22/8/17	数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思 想		0	教育原論	2		0						
の基	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		0	教職概論	2	0							
礎 的 理 解	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	0	教育制度論	2		0						
所に関	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程		0	教育心理学	2					0			
する	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解		0	特別支援教育論	1			0					
科目	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		0	教育課程論	1					0			
指道	道徳の理論及び指導法			道徳教育指導論	2								
導 徳 法	総合的な探究の時間の指導法		_	総合的な学習の時間の指導法	2			0					
み 等 び合	特別活動の指導法		0	特別活動論	1					0			
に関する	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方 法	8	0	教育方法論(ICT活用含む)	2						0		
科目教育	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		0	進路指導・生徒指導論	2			0					
相等談の	教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法		0	教育相談の理論と方法	2				0				
関教	3		0	事前・事後指導	1						0		0
す育る実	教育実習	3	0	教育実習 I (中・高)	2							0	
科践	del selle stands selected			教育実習Ⅱ(中)	2								
目に				教職実践演習(中・高)	2								0
	計			24									

※◎Oは必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること ☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

★理科(中学) 認定学科 : ナノ

科目 各科目に含めることが 最低修得 数 数 数		施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位	1年次		2年	次	3年	次	4年	三次
想 数職の意義及び教員の役割・職務内容	科目				汉未行口		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
の				0	教育原論	2		0						
が理解にに関する社会は、前皮の欠益を含った。 対応を含む。) 対応を含む。) 対応を含む。) 対別児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) 道徳の理論及び指導法 総合的な探究の時間の指導法 特別活動の推導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路育相談 (ロて活用含む) 2 (金路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路指導及びキャリア教育の理論及び方法 地路指導と会む。)の理論及び方法 地路指導と会む。)の理論及び方法 地路指導及びキャリア教育の理論と方法 2 (金路指導)と 地路指導・生徒指導論 2 (金路指導・生徒指導論 2 (金路指導)と 本知識を含む。)の理論及び方法 2 (金路指導)と 教育共習 (中・高) 2 (金路音導 1 (中・高) 2 (金路音楽 1 (中・音楽 1 (中・	の基礎的理			0	教職概論	2	0							
次児童及び生徒の心身の発達及び学習		項(学校と地域との連携及び学校安全への	10	0	教育制度論	2		0						
する 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生	12			0	教育心理学	2					0			
日	する			0	特別支援教育論	1			0					
# (表)				0	教育課程論	1					0			
法 、		道徳の理論及び指導法				2						0		
§ 及総 をいる にいる 関連性な では生物 でも指字 る 選等 日 も 数時 育問 担等 家の 日 をお情導及びキャリア教育の理論及び方法 と と 推指導の理論及び方法 と 一 数時 育問 担等 家の な知識を含む。)の理論及び方法 の理論及び方法 の理論及び方法 と 数育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法 の を含む。)の理論及び方法 ① 進路指導・生徒指導論 ② 教育相談の理論と方法 ② 教育相談の理論と方法 2 ② ② 関教 す育 る実 科践 教育実習 日 の 教育実習 I (中・高) ② 教育実習 II (中・ 2 ② ②						2			\circ					
ではなすのが応及らない	₩ 及総			0	特別活動論	1					0			
計画 生徒指導の理論及び方法 連路指導及びキャリア教育の理論及び方法 ⑤ 数育相談(カウンセリングに関する基礎的 数の知識を含む。)の理論及び方法 ⑥ 財教 す育 る実 科践 教育実習 5 数有実習 I (中・高) 2 ○ 数有実習 II (中・高) 2 ○ 教育実習 II (中・高) ○ 教育実習 II (中・高)	上関する	情報通信技術を活用した教育の理論及び方	10	0	教育方法論 (ICT活用含む)	2						0		
相等 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。) の理論及び方法 ② 教育相談の理論と方法 2 ③ 取教育実習 教育実習 数育実習 「	料 り 割 教 時			0	進路指導・生徒指導論	2			0					
す育 る実 科践	相等談の			0	2114 2114	2				0				
3 実				0		1						0		0
科践 □		教育実習	5	0		_							\sim	—
目に 教職実践演習 2 () 教職実践演習(中・高) 2 ()	科践	del relib eta p la 3-5-757		0									0	
計 27	目に			\circ	教職夫践演習(甲・局)									\cup

※◎Oは必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること ☆介護等体験7日間「社会福祉施設5日間、盲・聾・養護学校2日間」(中一種免許必修) ☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★機械工学科

「工業」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

	·目 ·公	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	備考
	目分 教科に関する専門的事	各科目に含めることが必要な事項工業の関係科目	最単 低位 項いぞ位33 修数 にそ1上位	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考
科	項					
目	kg -411	職業指導		○ 工業教育概論○ 職業指導 I○ 職業指導 II	2 2 2 2	
		科の指導法(情報通信技 術の活用を含む。)		○ 工業科教育法 I○ 工業科教育法 II	2	

☆「工業」免許状の取得方法について(特例)

高等学校教諭の工業の普通免許状の授与を受ける場合は、同表に掲げる「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」についての単位数の全部又は一部の単位の修得は、当分の間、当該免許状に係る「教科に関する専門的事項」についての同数の単位の修得をもって、これに替えることができる。(改正免許法施行規則第5条第1項表備考第6号)

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★建築学科

「工業」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

	目分	各科目に含めるこ とが必要な事項	最低修得 単 位 数	授業科目	単位数	備考							
教	教			○ 建築計画 I○ 建築計画 II○ 地域・都市計画○ 建築製図 I○ 建築製図 II	2 2 2 1 1								
科	科			○ 建築製図Ⅲ○ 建築設計 I○ 建築設計Ⅲ○ 建築設計Ⅲ	1 2 2 2								
及				○ 建築設計IV 地域計画設計 建築意匠設計	2 3 2								
び	に			^産 来息匹成司 デザイン実習 I デザイン実習 II デザイン実習 III	1 1 1								
教	関			建築CAD実習 I 建築CAD実習 II ○ 建築史 I	1 1 2								
科	す			○ 建築史 II○ 建築環境工学 I建築環境工学 II	2 2 2								
0	9	구ᄴ _ᄼ ᄜᄶᄭᅜ	各項目に ついてそ れぞれ1 単位以上 計35単位	○ 建築設備 I 建築設備 I 建築設備設計	2 2 2								
指	る	工業の関係科目		ついてそ れぞれ1	○ 静定構造力学○ 材料力学○ 不静定構造力学	2 2 2							
導	専			○ 建築構造学○ 鉄筋コンクリート構造 I鉄筋コンクリート構造 II	2 2 2								
法	пп			○ 鋼構造 I鋼構造 II耐震工学	2 2 2								
に 関	門			建築構造設計 建築構造実験 ○ コンクリート工学	2 2 2								
B - - - - - - - - -	的			建築材料 ○ 建築施工 建築施工管理 建築測量	2 2 2 2								
, る	事										産業例量 ○ 建築入門 ○ 建築実習 I ○ 建築実習 II	2 2 2 2	
科				建築防災 〇 建築法規 建築積算	2 2 2								
目	項	II라 개안 11시 / 구구		情報処理論 工業教育概論職業指導 I	2 2 2								
		職業指導 科の指導法(情報通信技 術の活用を含む。)		○ 職業指導Ⅱ○ 工業科教育法 I○ 工業科教育法 II	2 2 2								

☆「工業」免許状の取得方法について(特例)

高等学校教諭の工業の普通免許状の授与を受ける場合は、同表に掲げる「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」についての単位数の全部又は一部の単位の修得は、当分の間、当該免許状に係る「教科に関する専門的事項」についての同数の単位の修得をもって、これに替えることができる。(改正免許法施行規則第5条第1項表備考第6号)

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★宇宙航空システム工学科

「工業」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科区	目分	各科目に含めるこ とが必要な事項	最低修得 単 位 数	授業科目	単位数	備考
教科	教	こが必要な事項	平 位 奴	○ 航空宇宙材料学○ 材料力学 I材料力学 II構造力学○ 基礎流れ学航空流体力学 I	2 2 2 2 2 2	
及	科			航空流体力学Ⅱ 高速空気力学 ○ 基礎熱力学	2 2 2	
び	に			応用熱力学伝熱学航空推進工学宇宙推進工学	2 2 2 2	
教	関			デ田福度工子 航空機力学 I 航空機力学 II 特殊航空機概論	2 2 2 2	
科	す			誘導制御 I 誘導制御 II 航空宇宙機誘導制御	2 2 2	
の 指	ŕ	工業の関係科目	各項目に	デョー版	2 1 2	
道	る		ついてそれぞれ1単位以上	宇宙航空工学プロジェクトⅢ 宇宙航空工学プロジェクトⅢ 航空機整備実習	2 2 2	
法	専		計35単位	航空機性能運動実習 I 航空機性能運動実習 Ⅱ ○ 基礎製図	2 2 2 2	
に	門			設計製図 I 設計製図 II 航空宇宙機設計製図	2 2 2	
関	的			○ 宇宙航空工学実験 I ○ 宇宙航空工学実験 II 宇宙航空工学概論	2 2 1	
する	事			○ 工業力学○ 機械力学○ 情報基礎システム	2 2 2	
科	項			情報応用システム I 情報応用システム II ○ 機械工学大意 ○ 計測工学通論	2 2 2 2	
目		啦 米 卡·道		○ 工業教育概論○ 職業指導 I	2 2	
		職業指導 科の指導法 (情報通信技 術の活用を含む。)		○ 職業指導Ⅱ ○ 工業科教育法 I ○ 工業科教育法 II	2 2 2	

☆「工業」免許状の取得方法について(特例)

高等学校教諭の工業の普通免許状の授与を受ける場合は、同表に掲げる「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」についての単位数の全部又は一部の単位の修得は、当分の間、当該免許状に係る「教科に関する専門的事項」についての同数の単位の修得をもって、これに替えることができる。(改正免許法施行規則第5条第1項表備考第6号)

_ 中 学 免 許

※高校免許は次のページへ

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★ナノサイエンス学科

「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

	目分	各科目に含むとが必要な		最低修得 単 位 数	授業科目	単位数	備考
		物理	学		○ 基礎物理学	2	
		70 垤	子		物理学	2	
					○ 化学 I	2	
教	教				○ 化学Ⅱ	2	
~1	₹ \(1				材料組織学	2	
科	科				分子デザイン学	2	
及	に				機能性高分子科学	2	
					環境物質科学	2	
び	関				プロセス工学	2	
教	す	// *	پېچ		○ 基礎物理化学	2	
叙	9	化	学		○物理化学	2 2	
科	る				○ 基礎分析化学	2	
_	#				○ 分析化学 ○ 基礎無機化学	2	
0)	専			各項目に	○ 基礎無機化学 ○ 無機化学	2	
指	門			ついてそ	C	2	
'				れぞれ1	○ 基礎有機化学○ 有機化学	2	
導	的			単位以上	分子反応論	2	
法	事			中31単位	高分子科学	2	
12				十31千匹	○ 基礎環境生物科学	2	
に	項	生物	学		分子生物学 I	2	
			,		分子生物学Ⅱ	2	
関		地	学		○地学	2	
す					○ 物理学実験	2	
		物理学実			○ 基礎化学実験 I	1	
る		化学実験	€ •		○ 基礎化学実験 Ⅱ	1	
科		生物学実			○ 化学実験操作法	1	
117		地学実際	訮		○ 環境生物科学実験	1 2	
目					○ 地学実験○ 理科教育法 I	2	
	欠쇄	科の指導法(情報	想诵信士!		○ 理科教育法 Ⅱ	2	
		術の活用を含む。			○理科教育法Ⅲ	2	
					〇 理科教育法IV	$\frac{2}{2}$	

※中学・高校両方の免許を取得する場合は、中学免許の科目を修得すれば高校免許も取得できます。

高校免許

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★ナノサイエンス学科 「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科 区			【含めるこ 要な事項	最低修得 単 位 数		授業科目	単位数	備考
		物	理 学			基礎物理学	2	
		190 -	生			为 理学	2	
						∠学 I	2	
教	教					∠学Ⅱ	2	
1 1						才料組織学	2	
科	科					子デザイン学	2	
及						&能性高分子科学	2	
~ 10	に					環境物質科学	2	
び	` -					プロセス工学	2	
教	関		224			基礎物理化学	2	
1 1	12	化	学			为理化学 ************************************	2	
科	す					基礎分析化学	2	
\mathcal{O}	9			各項目に		分析化学	2	
414	る			ついてそ		基礎無機化学	2	
指	(J)			れぞれ 1		無機化学 ************************************	2	
導	車			単位以上		基礎有機化学	2	
\/	守				-	「機化学	2	
法	門			高35単位		子反応論	2 2	
に	P7					新分子科学 ************************************	2	
BB.	44	生	物学			基礎環境生物科学	$\frac{2}{2}$	
関	的	土 ·	100 子			分子生物学 I 分子生物学 II	$\frac{2}{2}$	
す	_	地	学			」丁生初子Ⅱ 也学	2	
7	事		•			<u>5</u> 7 7 7 7 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	2	
る	-	物理学				基礎化学実験 I	1	
科	項	化学:				基礎化学実験Ⅱ	1	
		生物学	Z実験、 Z実験			乙学実験操作法	1	
目		地子	一天駅		〇環	環境生物科学実験	1	
					坩	也学実験	2	
			(情報通信技			里科教育法 I	2	
		術の活用を含	含む。)		〇理	里科教育法Ⅱ	2	

(4) 文部科学省令で定める科目

文部科学省令で定める科目	最低修得 単 位 数	本学の授業科目	単位数	備考
日本国憲法	2	◎日本国憲法	2	必修
		◎健康スポーツ教育 I	1	これら 2 科目より 1 科目選択・
体育	2	◎健康スポーツ教育Ⅱ	1	必修
		◎健康科学概論	2	必修
外国語コミュニケーション	2	◎イングリッシュコミュニケーションⅢ	1	必修
クト国 品 - パコーグ・ / 3 /	\dagger{\lambda}	◎イングリッシュコミュニケーション I V	1	业修
数理、データ活用及び	0	◎データサイエンス入門	2	N. libr
人口知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	◎情報処理基礎	2	必修
計	8	計	1 1	